

## 平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成30年3月27日
研究・研修課題名	職員の健康管理システムの改善とリスクマネジメント
研究・研修組織名 (所属)	医学部附属病院安全衛生委員会 (医学部附属病院)
研究・研修責任者名 (所属)	嘉数 直樹 (環境予防医学・医学部附属病院産業医)
共同研究・研修実施者名 (所属)	長妻久美子, 増原晴美, 永田翔平 (総務課労務管理担当)

### 目的及び方法、成果の内容

#### 1. 目的

健康管理システムの検査オーダーシステムの継続的改善

本院では、病院施設や機能を活用して健康管理を行っているため、労働安全衛生法等の法令改正や院内感染対策等の方針に対応した健康管理システムの継続的改善が必要である。職員定期健康診断の100%受検率の維持、健診に関するデータベース化による院内の感染症などのリスクをマネジメントする。

#### 2. 方法

- ①病院情報システム更新に伴い健康管理システムのデータベース及びプログラム等を移行する。
- ②健康管理システムのオーダーシステムの継続的改善として、問診票等の内容の変更等産業医判定資料の改善に係るシステムの機能の修正を行う。

#### 3. 成果

①病院情報システム更新に伴い健診システム用のパソコンも更新となったため、システム変更するとともに、検査部、放射線部のシステムとのデータ交換も可能となるよう設定変更を行った。

②問診票等の様式を変更し職員からの身体状況等の情報項目を増やした。これに伴う産業医判定資料への項目追加とシステム機能の改修を行ったことにより、産業医が判定を行う際の利便性が向上された。

③健診結果により精密検査等必要な対象職員へ紹介状を添付しているが、この紹介状の様式変更を行った。産業医のコメントをより詳細に印字できるようにシステム改修を行うとともに、精密検査を行った医師から受診結果について報告を得やすいよう様式を変更した。今後、精密検査受診後の職員の健康管理の強化に繋がると思われる。

④データ入力時の記録表画面で検査項目対象がわかるよう表示の改善や生年月日の記載のある画面やレポート全てに年齢を表示することで、データ入力時の人為的ミスの削減と産業医の健診結果の判定業務の際の利便性が向上した。

⑤血液検査等の受検後、検査結果データが検査部から送信されるが、検査内容の確認等のため検査当日に未送信となる場合もある。データの未送信の判別がしやすくなるよう改修することにより、受検状況の確認も迅速に行えるようになった。

